

1928年から1936年の間に逗子で観察された鳥類

丸 猶 丸 ・ 丸 武 志

Birds Observed in Zushi between 1928 and 1936

Naomaru MARU and Takeshi MARU

逗子市は神奈川県南東端に突き出た三浦半島の付根の相模湾側に位置しており、西は鎌倉市、北は横浜市、東は葉山町にそれぞれ囲まれている。この地域の自然は池子や丘陵地にまだ多く残されているが、第2次大戦以後の住宅地の拡大により戦前とは大きく変わってきている。特に田畑の多かった平野部はほとんど宅地化されてしまった。

筆者の一人丸猶丸は逗子で生れ、戦前はそこに在住していた。その当時から（現在もそうであるが）鳥に関心を持ち、自宅の周辺で捕獲したり、観察した鳥類

を記録していた（図1）。自然環境の変化とともに観察される鳥類は変わるだろう事を考えると戦前の記録は大変興味深いと思われるのでここに報告することにした。都市の自然環境の変遷に関心を持っておられる方の一助になることを期待したい。

当時の記憶をたどって、その頃の様子を書き添えておく事は記録を見る上で役にたつかも知れない。簡単に記しておく。

昭和3~11年には逗子市は逗子「町」で、国鉄がすでに通じていたが、京浜急行は京浜逗子駅まで開通し

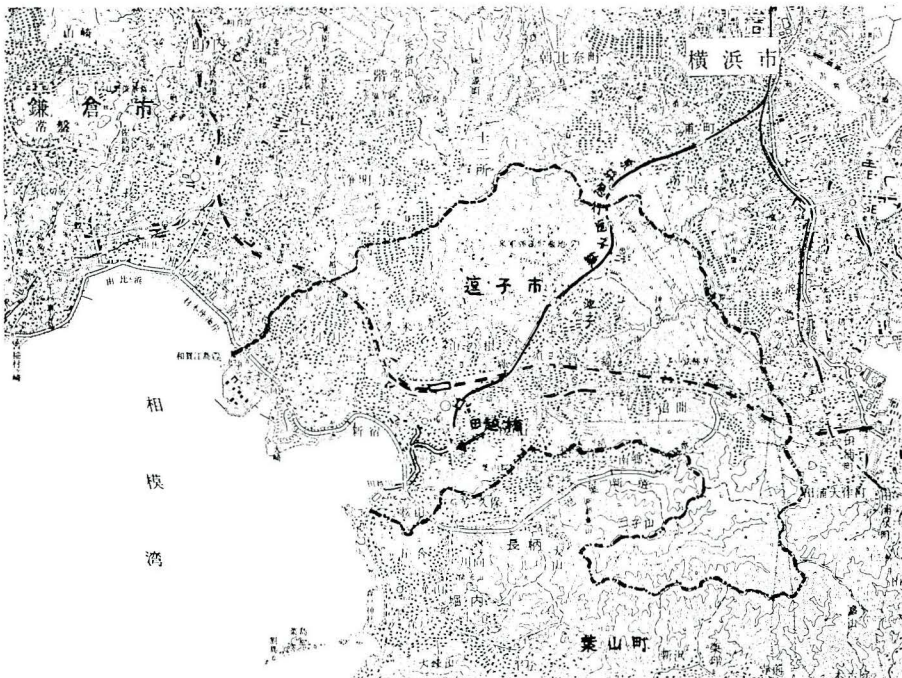


図1 調査地域

た頃であった。国鉄逗子駅周辺は現在のビルが立ち並ぶほどではないが、家並がかなり多く、逗子町の中心地と言える。しかし、他の平野部の大部分は田畑あるいは草地であり、海岸地帯は別荘地となっていた。京浜急行逗子駅周辺はまだ湿地あるいは田畑で、多くのセッカが繁殖し、冬期になるとホオアカ、タヒバリ、ツグミがたくさん見られた。池子は鳥が多い所で、ヤマドリがホロを打ち、カケスが飛びかっていたと記憶している。田越川は河口から東郷橋付近までシギ類が多数飛来し、カワセミが多く、また夜になるとたくさんのゴイサギが餌を探していた。海岸の別荘地には松林が連なり、カワラヒワが一年中多く生息し、冬期にはクイタダギがエナガやシジュウカラの群と共によく見られた。現在では想像も出来ないが、ガン（種は不明だが）の渡る姿を見る事が出来た時代であった。

観察については、当時学生であったので学校から帰ってから、あるいは休みを利用して週に3～4回フィールドに出かけて行った。海鳥類やシギ類は多く飛来していたと思われるが、双眼鏡を持ってなかったため大部分は判別出来なかった。記録は捕獲し、そしてそれを標本にしたものと、直接姿か鳴き声で判別されたものである。種名は当時黒田長禮氏の図鑑によって整理したが、その後変わったものもあるので日本鳥類目録（1974）によって改めてある。夏鳥、冬鳥、旅鳥、迷鳥の分類は逗子を中心として行った。

目 録

カイツブリ *Podiceps ruficollis poggei* 留
 ウミウ *Phalacrocorax filamentosus* 冬
 サンカノゴイ *Botaurus stellaris* (夏)、少ない
 オオヨシゴイ *Ixobrychus eurhythmus* +、少ない
 ゴイサギ *Nycticorax nycticorax* (留)
 ササゴイ *Butorides striatus* 夏、少ない
 コサギ *Egretta garzetta* 旅、少ない
 オシドリ *Aix galericulata* 冬、少ない
 マガモ *Anas platyrhynchos platyrhynchos* 冬
 カルガモ *Anas poecilorhyncha zonorhyncha* 冬
 コガモ *Anas crecca crecca* 冬
 ウミアイサ *Mergus serrator* 冬
 トビ *Milvus migrans lineatus* (留)
 オジロワシ *Haliaeetus albicilla* 迷
 オオタカ *Accipiter gentilis* 冬、少ない
 ハイタカ *Accipiter nisus* +
 ノスリ *Buteo buteo japonicus* 留

クマタカ *Spizaetus nipalensis orientalis* 迷
 ハヤブサ *Falco peregrinus japonensis* 旅
 チョウゲンボウ *Falco tinnunculus interstinctus* 冬
 ウズラ *Coturnix coturnix japonica* 冬、少ない
 コジュケイ *Bambusicola thoracica thoracica* (留)
 ヤマドリ *Phasianus soemmerringii* (留)
 キジ *Phasianus colchicus* (留)
 クイナ *Rallus aquaticus indica* 冬、少ない
 パン *Gallinula chloropus indicus* 冬、少ない
 シロチドリ *Charadrius alexandrinus nihonensis* 旅
 コチドリ *Charadrius dubius curonicus* (夏)
 ムナグロ *Pluvialis dominica fulva* 旅
 キョウジョシキ *Arenaria interpres interpres* 旅
 メリケンキアシシギ *Tringa incana* 旅
 キアシシギ *Tringa brevipes* 旅
 イソシギ *Tringa hypoleucos* 旅
 チュウシャクシギ *Numenius phaeopus variegatus* 旅
 ヤマシギ *Scolopax rusticola* 冬
 タシギ *Gallinago gallinago gallinago* 冬
 アカエリヒレアシシギ *Phalaropus lobatus* 旅、時に多い
 ウミネコ *Larus crassirostris* 冬
 コアジサシ *Sterna albifrons sinensis* 夏
 ウミスズメ *Synthliboramphus antiquus* 旅
 キジバト *Streptopelia orientalis orientalis* (留)
 カッコウ *Cuculus canorus telephonus* 旅、少ない
 ツツドリ *Cuculus saturatus horsfieldi* 旅、少ない
 ホトトギス *Cuculus poliocephalus poliocephalus* 旅、少ない
 オオコノハズク *Otus bakkamoena semitorques* 冬
 アオバヅク *Ninox scutulata japonica* (夏)
 フクロウ *Strix uralensis* (留)
 ヨタカ *Caprimulgus indicus jotaka* 夏
 ヤマセミ *Ceryle lugubris lugubris* 迷
 カワセミ *Alcedo atthis bengalensis* (留)、多い
 アリスイ *Jynx torquilla japonica* 冬、少ない
 アカゲラ *Dendrocopos major japonicus* 冬、少ない
 コゲラ *Dendrocopos kizuki* 冬、少ない
 ヒバリ *Alauda arvensis japonica* 留、少ない
 ツバメ *Hirundo rustica gutturalis* (夏)
 キセキレイ *Motacilla cinerea robusta* 冬、多い
 ハクセキレイ *Motacilla alba* 冬
 セグロセキレイ *Motacilla grandis* 冬
 ビンズイ *Anthus hodgsoni hodgsoni* 冬、多い

タヒバリ *Authus spinoletta japonicus* 冬
 サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus* 旅, 少ない
 ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis amaurotis* (留)
 モズ *Lanius bucephalus bucephalus* (留)
 キレンジャク *Bombycilla garrulus* 旅
 ヒレンジャク *Bombycilla japonica* 旅, 多い
 ミソサザイ *Troglodytes troglodytes* 冬, 少ない
 ルリビタキ *Tarsiger cyanurus cyanurus* 冬
 ジョウビタキ *Phoenicurus aureus* 冬
 イソヒヨドリ *Monticola solitarius* (留)
 トラツグミ *Turdus dauma aureus* 冬
 アカハラ *Turdus chrysolaus* 冬
 シロハラ *Turdus pallidus* 冬
 マミチャジナイ *Turdus obscurus* 冬
 ツグミ *Turdus naumanni eunomus* 冬
 ウグイス *Cettia diphone cantans* 冬
 オオヨシキリ *Acrocephalus arundinaceus* (夏)
 メボソムシクイ *Phylloscopus borealis* 旅
 センダイムシクイ *Phylloscopus occipitalis* 旅
 キクイタダキ *Regulus regulus japonensis* 冬
 セッカ *Cisticola juncidis* (夏), 多い
 キビタキ *Ficedula narcissina* 旅
 オオルリ *Cyanoptila cyanomelana* 夏, 少ない
 エナガ *Aegithalos caudatus trivirgatus* (留), 多い
 ヒガラ *Parus ater insularis* 冬, 少ない
 ヤマガラ *Parus varius varius* +, 少ない
 シジュウカラ *Parus major major* (留), 多い
 メジロ *Zosterops japonica japonica* (留), 多い
 ホオジロ *Emberiza cioides ciopsis* (留), 多い

ホオアカ *Emberiza fucats fucata* 冬
 カシラダカ *Emberiza rustica latifascia* 冬
 アオジ *Emberiza spodocephala personata* 冬, 多い
 クロジ *Emberiza variabilis* 冬, 少ない
 オオジュリン *Emberiza schoeniclus pyrrhulina* 冬,
 少ない
 アトリ *Fringilla montifringilla* 冬
 カワラヒワ *Carduelis sinica minor* (留), 多い
 マヒワ *Carduelis spinus* 冬, 少ない
 ウソ *Pyrrhula pyrrhula griseiventris* 冬, 少ない
 シメ *Coccothraustes coccothraustes japonicus* 冬
 スズメ *Passer montanus saturatus* (留)
 コムクドリ *Sturnus philippensis* 旅, 少ない
 ムクドリ *Sturnus cineraceus* (留)
 カケス *Garrulus glandarius japonicus* 冬
 ハシボソガラス *Corvus corone orientalis* (留)
 ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos japonensis*
 (留)

() は繁殖を確認 + 記録された季節が不明
 夏=春～夏に観察 冬=秋季～冬に観察
 留=一年中観察 旅=渡り鳥の季節に観察
 迷=1～2度観察
 多い, 少ないは印象で, 比較されたものではない。

文 献

黒田長禮 1934 鳥類原色大図説, 修教社書院
 日本鳥類目録 1974 学研, 東京.
 (丸 猶丸・丸 武志: 横浜市金沢区谷津町96)